

品川区新庁舎整備 NEWS



第4回 品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会が令和3年9月14日（火）、区役所で開催されました。本紙では、基本構想案の検討を行う策定委員会の様子をお伝えしていきます。



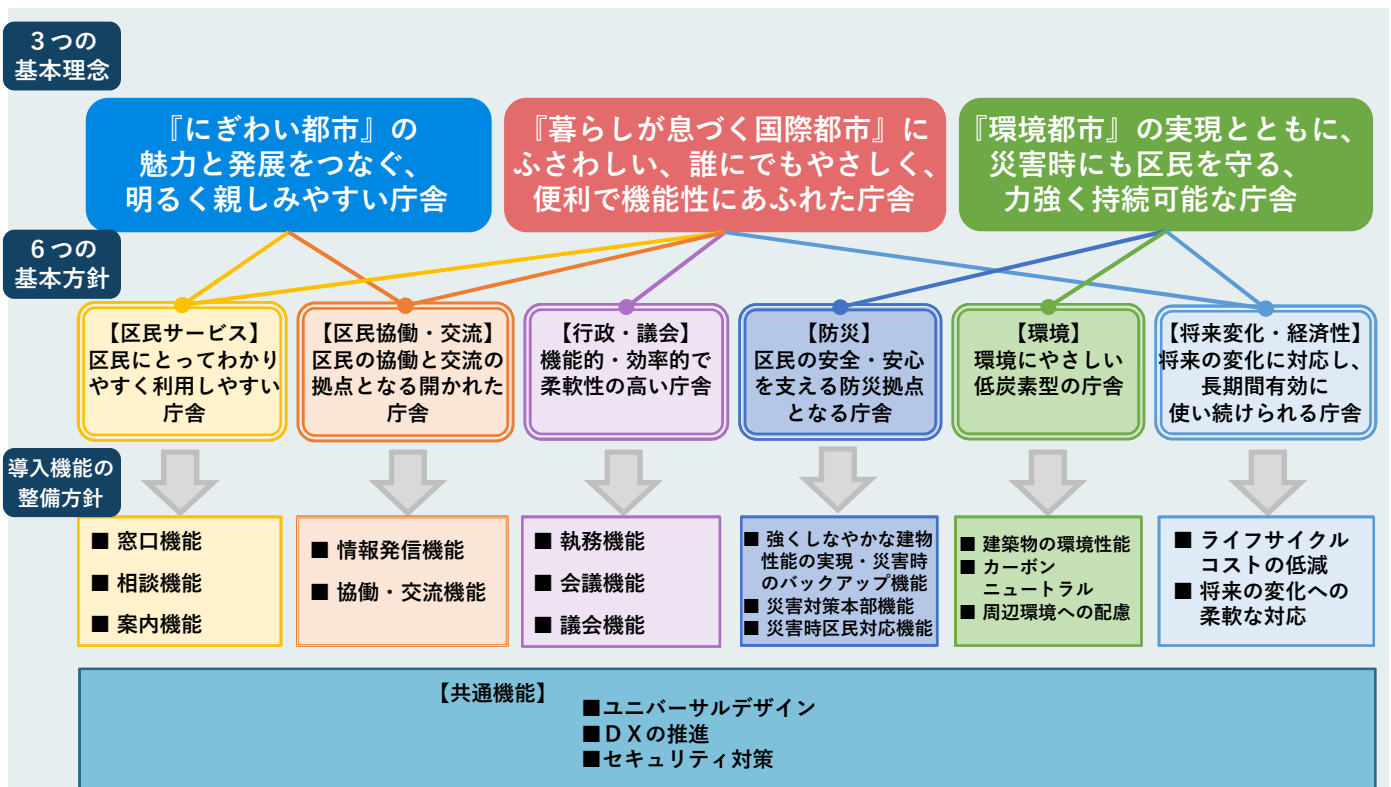
委員会の概要

委員会では、新庁舎の事業手法や事業スケジュールおよび概算事業費のほかに、10月から実施するパブリックコメントに向けて、基本構想素案の内容を事務局から説明しました。

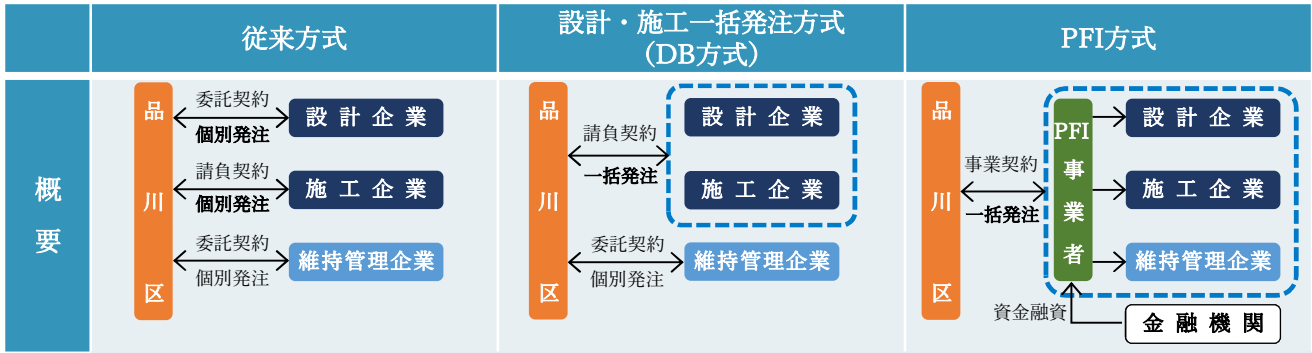
各委員からは、素案のまとめ方やパブリックコメントの進め方などに関して、活発な議論をいただきました。

基本理念・基本方針・導入機能の整備方針【素案まとめ】

これまでの委員会での審議を踏まえ、基本理念・基本方針・導入機能の整備方針をそれぞれ次のとおり設定し、基本構想素案としてまとめました。基本構想を基にして、より詳細な整備内容は、次のステップである基本計画をはじめ、基本設計や実施設計の段階で決定していきます。

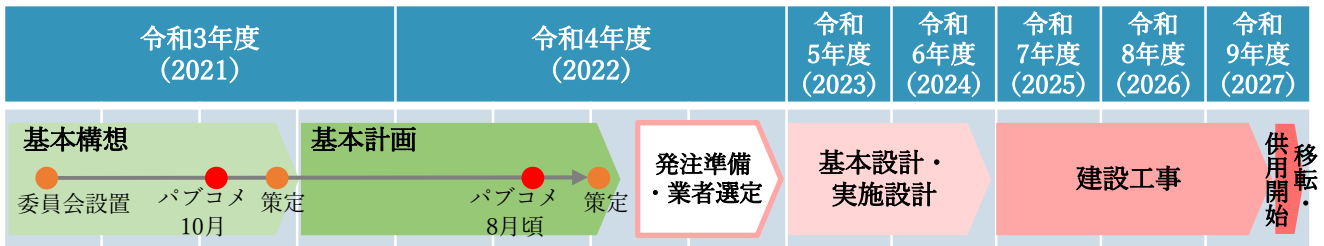


事業手法の比較



*基本計画においてさらに検討を深め、採用する事業手法を決定します。

想定事業スケジュール



想定概算事業費

概算事業費 (税込)		
調査・設計費	約20億円	施工監理費含む
建設工事費	約360億円	60万円/㎡ × 60,000㎡
外構工事費	約20億円	歩行者デッキなど
合計	約400億円	

※単価は他区事例より想定しています。
 ※国および都（調整中）の機関の整備費を含みます。
 ※備品更新費、移転費、現庁舎の解体工事費は含んでいません。

委員からの主な意見

- 事業手法については、他の方式も含めてもう少し議論を深めていきたい。
- 大変大きな事業費であるため、財源負担の平準化をお願いしたい。
- 品川区の中心である庁舎は、障害者が活躍できる場であってほしい。
- 区民の利用しやすさ、わかりやすさという点から低層型の庁舎としてほしい。
- 災害対策本部にも障害のある方や女性の方も入って活躍できるスペースを。
- 災害時に備えておくべき機能については、より具体的に明記しておくべきでは。
- 業務量が増えても、ゆとりを持った働き方ができるように。
- スタートアップ企業など区内事業者の柔軟な発想を取り入れられるようなパブリックコメントにしてほしい。

コラム



窓口案内補助として、日本語、英語、中国語、韓国語に対応した、高い音声認識と回答精度を備えたAI案内ロボット「ロボコット」が品川区総合庁舎に導入されています。



第5回策定委員会

日時：11月16日（火）午前10時～
 場所：品川区役所 議会棟 第一委員会室
 内容：パブリックコメントの結果報告、基本構想案の答申

※第4回策定委員会に関する資料はこちらから

ご意見・お問い合わせ

品川区 総務部 経理課 庁舎計画担当
 連絡先 電話：03-5742-7801
 FAX：03-5742-6873

※ご意見はこちらへ

mail : keiri-choshakeikaku@city.shinagawa.tokyo.jp 2

次回案内

